

AJU

みずほ



NPO 法人高次脳機能障害友の会みずほ
会報 第97号

会員 白土ころさんの作品
【手編みのかばん♥】



目次

- 渡邊修先生来所 P2 ■ 雑観 P2～3
- あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会ご案内 P3～4
- 働くなかまの集い P5 ■ 企画グループ P6 ■ キッズプラス P7
- 若い失語症者のつどい P8～9 ■ ミラクル&レディース P9
- サマーワークショップ(若者の集い)に参加して P10
- 自動車運転に関する講座・相談会 P11 ■ ワークハウスみかんやま P12～13
- 運賃割引サービスについて P14 ■ 会員さんの作品ご紹介 P15 ■ 入会の案内など P16

渡邊修先生来所

2022年に「あいち高次脳機能障害リハビリテーションWeb講習会」の講師を務めてくださいました渡邊修先生(日本高次脳機能障害友の会顧問)が、本年4月より毎月1回名古屋にお越しになり、午前中は市大医学部附属リハビリテーション病院に、午後はなごや高次脳機能障害支援センターアドバイザーとして勤務されています。

去る8月20日にはみずほの事務所にお越し頂き、ワークハウスみかんやまの見学及び利用者の方々との懇談会後、みずほ運営会員と車座形式の相談会・懇談会を行いました。

ご高名な先生と直接話をする機会ということで、参加された皆さんが緊張し話が進まないかと危惧しておりましたが、先生の気さくなお人柄もあり、思った以上の本音の相談、会話ができたと感じております。

今回は初めての試みということで、運営会員のみへの声掛けとなってしまいましたが、先生も私たち家族会会員と直接話すことを、意義があることとされていたので、別途他の会員各位にも参加していただける機会を設けるよう、取り組もうと考えております。

雑 観

日本列島全体が釜茹でにされたような、異常な高温が続いています。名古屋の猛暑日、熱帯夜も観測史上最多を更新し続けていますが、この会報が発送される頃には、少しは涼しくなっているのでしょうか？

この猛暑の影響で山のエサが不足したせいか、クマによる被害報道がこれまで以上に多いように思います。私事ですが、新潟の実家(現在は空き家)の墓掃除に帰省した際、近隣の方から獣害対策のため我が家所有の雑木を伐採するよう、要請されました。実際その方の玄関口には、猪が体を潜めていた跡が残っていましたし、お隣の家のすぐ裏で熊が目撃されたそうです。

雑木といっても高さ10m以上の木が数十本あるような状態ですので、個人では如何ともしがたく、一番近くの業者に相談し伐採を依頼することとなりました。後日伐採を依頼した旨をお隣さんに伝えたところ、なんと数日前に私が所有者である伐採予定地で、熊が罠にかかり駆除されたとの話を聞きました。人的被害は起きておらずホッとしましたが、紙一重の状態であり、今後も危険は続きますので、予定通り伐採を行う予定です。

いくら山深い場所とはいえ、私が住んでいる頃には、人家周辺に害獣が出ることはありませんでした(ウサギやリスはよく見ましたが)。やはり人と獣の境界線が変わってきており、より人の生活空間に境界線が近づいているのだな、と思わされる出来事です。



猛暑日や熱帯夜などの気候もそうですし、人と野生動物の境界線もそうですが、かつての常識が一変することが多くなってきている気がします。この猛暑を「異常気象」と言っていますが、もう既に「異常」ではなくこれが「平常」になってしまっているのかもしれない。「異常」という言葉だと、一過性であり短い間を我慢すればやり過ごせると思ってしまうかもしれませんが、様々なかつての「異常」が「平常」化しつつある今、備え方を見直さなければなとつくづく思う今日この頃です。

理事長 長谷川 潤

あいち高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

今年度は、東北医科薬科大学病院高次脳機能障害支援センター長、山形県高次脳機能障がい者支援センター顧問、東北大学名誉教授の鈴木匡子氏をお招きして開催されます。

第1部の基調講演では、高次脳機能障害をお持ちの方の発症前後の差異や健常者との差異を認識できるが故の「ジレンマや苦しさ」という視点と、十分には自分の状態に気づけないという視点の両方からお話いただきます。

第2部は、3組の当事者・支援者の方々からの発表と座談会が行われます。第1部の講演に引き続き、「当事者としてのジレンマ」をテーマに語っていただく予定です。

会場は、名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3 階 大ホールです。
みなさんにとても関心の深いテーマだと思いますので、ぜひご参加ください。



※次ページのチラシをご覧ください